

シナジー拡大に向けた一部事業領域の適正化について

積水化学グループでは、10月より環境・ライフラインカンパニーと高機能プラスチックカンパニーの戦略事業分野を再編するとともに、一部事業・製品ならびに関係会社の管轄を変更することで、事業領域の適正化を行い、事業上のシナジーをより発揮しやすい体制を構築します。

I. 背景と趣旨

積水化学グループでは、2030年までの長期ビジョン「Vision 2030」を制定し、このなかで、「Innovation for the Earth」をビジョンステートメントとして掲げ、イノベーションを起こし続けることにより、サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造していくことを目指しています。

近年、各事業が対象領域を拡大させたことで事業活動の一部がカンパニー間で近接化した状態となっていましたので、今般事業領域の適正化を行うことで、マーケティング、生産、技術などあらゆる面でのシナジーを追求する体制に移行することを決定しました。

II. 変更の概要

【環境・ライフラインカンパニー】

- ・3つの戦略分野を従来の「配管・インフラ」「建築・住環境」「機能材料」から「パイプ・システムズ」「住・インフラ複合材」「インフラ・リニューアル」に再編します。【図】
- ・「パイプ・システムズ」分野に「PVCマテリアル事業部」を新設。管材事業部の一部機能に加え、高機能プラスチックカンパニーの塩素化塩ビ（CPVC）樹脂関連事業（後述）を移管します。
- ・積水成型工業㈱および SEKISUI KYDEX LLC.を高機能プラスチックカンパニーに移管。積水成型工業は精密成形技術によるさまざまな産業向けのシナジーを狙い、「インダストリアル」分野へ。SEKISUI KYDEXは SEKSUI AEROSPACE CORPORATION とのシナジー強化を狙い、「モビリティ」分野へ移管します。
(SEKISUI KYDEXの移管に伴い、シート事業部は廃止します)

【高機能プラスチックカンパニー】

- ・3つの戦略事業分野を「エレクトロニクス」「モビリティ」「インダストリアル」に変更します。（「住インフラ材」→「インダストリアル」）【図】
- ・「耐火材料事業部」（および傘下の積水ソフランウイズ㈱）を環境・ライフラインカンパニーの「住・インフラ複合材」分野に移管します。
- ・「住インフラ材」分野の機能樹脂事業部管轄であった塩素化塩ビ（CPVC）樹脂関連事業ならびに傘下の関係会社（徳山積水工業㈱、SEKISUI SPECIALTY CHEMICALS (THAILAND) CO., LTD.ならびに SAND L SPECIALTY POLYMERS CO., LTD.）を環境・ライフラインカンパニーの「パイプ・システムズ」分野の「PVCマテリアル事業部」に移管します。
- ・積水テクノ成型㈱が手がける雨水貯留材「クロスウェーブ」および関連製品について、環境・ライフラインカンパニーの「パイプ・システムズ」分野の「管材事業部」に移管します。

【図】環境・ライフラインカンパニーおよび高機能プラスチックカンパニーの戦略分野の変更

